

電子部品・デバイスの実装



●血液用冷蔵庫等の医療機器製品、防爆冷蔵庫および恒温槽等の防爆製品の製造販売

## 株式会社大同工業所

▶TEL: 06-6746-7141 FAX: 06-6746-7195

▶URL: <http://www.daido-ind.co.jp>

### 高度な冷蔵冷凍技術と防爆技術で、「人間の安全」をまもる



医療機器としての血液用冷蔵庫、産業用の防爆冷蔵庫を柱に、「人命と環境」という人間に直結する「安全」をまもる製品づくりに取り組む大同工業所。いずれも法的な厳しい審査基準をクリアし、現場ニーズにそって忠実に改良を重ねて生まれる製品は高い評価を得ている。



血小板製剤保管用のクロマトチャンバー



防爆スポットクーラー



防爆低温乾燥器

#### 事業概要と躍進の契機

#### 医療機器・防爆製品として信頼性の高い製品開発を進める

創業時は、ステンレス製品、厨房機器を製造。業務用冷蔵庫、冷凍庫から理化学用・医薬品用保冷库、フリーザーなどの製造開始。1984年に赤十字血液センターへの血液保存器具の納入を開始した。1997年(社)産業安全技術協会の検定合格を受け、防爆冷凍・冷蔵庫の製造を開始した。冷蔵冷凍技術と防爆安全技術の二つを軸に、医療用、産業安全用に幅広い製品をラインアップしている。

#### 会社の強み・主力商品など

#### 安全な温度管理を実現する血液用冷蔵庫と防爆関連製品

安全な温度管理に徹底的にこだわったモノづくりを進めている。薬事法の承認を受けた血液用冷蔵庫、なかでも温度帯22℃を保つ血小板用の保管庫は7～8割の高いシェアを有している。また、検定合格品として真に「防爆」をうたえる同社の製品。引火性液体を低温保管し、着火源をなくすための様々な工夫が施された防爆冷蔵庫の国内シェアも50%にのぼる。高い温度精度を求められる業務用の恒温恒湿槽は設計、製造を行い、その技術力は高い評価を得ている。

#### 今後の事業展開

#### 世界を視野に、半導体材料など電気電子分野への導入を目指す

今後は、世界市場への進出も視野にいれるとともに、防爆技術の新たな市場開拓にも余念がない。防爆技術製品を半導体用レジスト材料や有機電解液の保管用にと、電気電子分野に向けその必要性をアピールしている。

#### ●企業プロフィール

〒577-0006 大阪府東大阪市楠根1-6-45  
代表取締役 大桐春一  
創業:1945年(昭和20年) 設立:1981年(昭和56年)  
従業員数:25名  
資本金:1,000万円

#### 企業メッセージ

当社は、血液用の冷蔵保存技術と防爆安全技術で、「人間の安全」をまもる製品づくりにこだわってきました。今後もこの2つの技術を極め融合させながら、医療界・産業界に貢献していきたいと考えています。



代表取締役 大桐春一